



南の風



いつも正直でいよう

ふとした日差しに夏を感じることもありますが、梅雨入りを前にして、雨模様でじめじめした日もあり、体調管理が難しい今日このごろです。

先日行われた運動会では、子どもたちの頑張る姿、仲間を応援する姿、全力で競技に打ち込む姿が見られ、うれしく思うとともに、頼もしくも思いました。保護皆様には、準備や片付け等ご協力いただきまして、ありがとうございました。

さて、今月の全校集会では、あるクラスの告白から話をしました。4月に各学級に配付したドッジビー。このドッジビーを片付け忘れて雨ざらしになってしまい、所々破損し汚れてしまったとのこと。学級で使い方を話し合い、さらに、学校のものだから正直に校長先生のところに謝りにいこうと。私は、この学級の真摯な姿に胸を打たれました。やってしまったことは、気をつけなければならなかったことですが、校長の所にみんなで「ごめんなさい」を言いに来ることは大変勇気がいったことと思います。しかし、正直に話したことで、私はこのクラスの皆さんを信頼し、その正直さを尊重したいと思いました。6月に入り、学年や学級に慣れてきたこの時期は、様々な出来事がおこることと思います。友だちと言い争うこともあるかもしれません。そのようなときに、自分の行いを振り返り、誤りがあれば正直に話せる勇気をもってほしい、との思いから全校集会でこのエピソードを話しました。

全校集会の次の日、大変うれしいことがありました。私の話の内容についてあるクラスの皆さんから感想が届いたのです。

「嘘をついてごまかすのではなく、自分で正直に言える人になりたいと思いました。」

「私にとっての正直は、周りの人にも、自分にも正直になることだと思います。」

「正直に言うのはすごく勇気がいるけどちゃんと言えるのはかっこいいと思います。」

ほんの一部を紹介しましたが、すぐに反応を示してくれたことに感動し、南部っ子は、みんな素晴らしいなあと改めて実感しました。

子どもたちのよさを引き出し、お互いに信頼し尊敬し合えるような仲間づくりができるよう、今も見守っていこうと思います。

<学校教育目標>

『自ら考え判断し、
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子

『みんなのためのルールブック

ロン・クラーク著』「草思社」より

<ルール48>

「いつも 正直でいよう」

どんな事情があろうと、
たとえ悪いことをしたときでも、
いつも正直でいよう

*ほんとうのことを言う人は、尊敬され、
信頼される。

よくないことをしたときも、うそを
つけばいつかはばれるが、
正直に認めれば、その正直さが尊重
される

